

防災・減災対策に関するアンケート調査（結果とりまとめ）

○はじめに

本調査は、令和5年度 愛媛県政課題調査において株式会社サーベイリサーチセンターによって10月13日から10月30日の間で実施されたものとなっている。アンケートは400名を対象に実施され、400名全てから回答を得ることができた。

○調査結果

調査結果は以下のとおりとなった。

F：基礎データ

回答者の性別、年齢、住まいは以下のとおりであった。

調査数	F1 性別		
	男性	女性	
400	195	205	(回答数)
100.0	48.8	51.3	(パーセント)

調査数	F2 年齢					
	18歳～29歳	30代	40代	50代	60歳～79歳	
400	51	54	74	68	153	(回答数)
100.0	12.8	13.5	18.5	17.0	38.3	(パーセント)

調査数	F3 住まい					
	松山	西条・新居 浜・宇摩	今治	宇和島	八幡浜・大洲	
400	191	92	48	32	37	(回答数)
100.0	47.8	23.0	12.0	8.0	9.3	(パーセント)

調査数	Q17 職業															
	会社勤務 (一般社員)	会社勤務 (管理職)	会社経営 (経営者、 役員)	公務員、 教職員	非営利団体 職員	派遣社員、 契約社員	農林漁業	自営業	SOHO	専門職 (弁護士、税 理士、医療 関連など)	パート、 アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職		その他の職業
400	97	13	5	28	3	21	5	18	1	14	61	62	3	62	7	(回答数)
100.0	24.3	3.3	1.3	7.0	0.8	5.3	1.3	4.5	0.3	3.5	15.3	15.5	0.8	15.5	1.8	(パーセント)

Q1：あなたの生活している地域でも災害が発生する恐れがあると感じていますか。

「よく感じる」または「やや感じる」に回答したのは全体の78%であった。

調査数	Q1 あなたの生活している地域でも災害が発生する恐れがあると感じていますか。				(回答数) (パーセント)
	よく感じる。 (非常に心配)	やや感じる。 (多少心配)	あまり感じない。 (たぶん大丈夫)	感じない。 (大丈夫)	
400	106	206	72	16	
100.0	26.5	51.5	18.0	4.0	

Q2：自然災害等のリスクの高い区域として愛媛県が指定している以下の区域について、自宅が区域内なのか？区域外なのか？把握していますか。

「把握している」に回答したのは全体の58.5%であった。

調査数	Q2 自然災害等のリスクの高い区域として愛媛県が指定している以下の区域について、自宅が区域内なのか？区域外なのか？把握していますか。		(回答数) (パーセント)
	把握している。 (確認している)	把握していない。 (確認したことがない)	
400	234	166	
100.0	58.5	41.5	

(参考：住まいによる内訳)

いずれの住まいにおいても、「把握している」が過半数を超えているが、もっとも「把握している」に回答をしたのは「八幡浜・大洲」の81.1%であり、続いて「宇和島」の75%であったことから、南予方面の認知が高い傾向にあることが分かった。

	調査数	Q2 自然災害等のリスクの高い区域として愛媛県が指定している以下の区域について、自宅が区域内なのか？区域外なのか？把握していますか。	
		把握している。(確認している)	把握していない。(確認したことがない)
合計	400	234	166
	100.0	58.5	41.5
F3 住まい	松山	191	98
		100.0	51.3
	西条・新居浜・宇摩	92	54
		100.0	58.7
	今治	48	28
		100.0	58.3
	宇和島	32	24
	100.0	75.0	
八幡浜・大洲	37	30	
	100.0	81.1	

Q3：Q2について、把握していると答えた方は、各区域等の情報をどこで把握（入手）されましたか。

「市町から配付されたハザードマップ」がもっとも多く全体の67.1%であった。

調査数	Q3 Q2について、把握していると答えた方は、各区域等の情報をどこで把握（入手）されましたか。					
	愛媛県のホームページ	各市町のホームページ	市町から配付されたハザードマップ	テレビのニュース	標識	その他
234	49	90	157	22	7	3
100.0	20.9	38.5	67.1	9.4	3.0	1.3

（回答数）  
（パーセント）

※当該設問は複数回答が可能のため、パーセントは回答数を調査数で割って算出している。

その他：「災害アプリ」、「保険会社ハザードマップ」、「引っ越してきた際に管理会社からもらった」

Q4：Q2について、把握していないと答えた方は、その理由は何でしょうか。

「知っていたが、面倒なため調べなかった。」が全体の45.8%であり、「知っていたが、調べ方が分からなかった。」が全体の21.1%であった。

調査数	Q4 Q2について、把握していないと答えた方は、その理由は何でしょうか。			
	そのような区域があることを知らなかった。	知っていたが、面倒なため調べなかった。	知っていたが、調べ方が分からなかった。	その他
166	54	76	35	1
100.0	32.5	45.8	21.1	0.6

（回答数）  
（パーセント）

その他：「自分が住んでいるところは安全だと信じているから」

Q5：自然災害等のリスクは Q2 の区域図等で示しているところですが、生活する上でもっともリスクを感じるのはどの災害ですか。

「地震」がもっとも多く全体の 56.8%であった。次に多かったのは「河川の氾濫、浸水」で 19.3%であった。

調査数	Q5 自然災害等のリスクはQ2の区域図等で示しているところですが、生活する上でもっともリスクを感じるのはどの災害ですか。					(回答数) (パーセント)
	地震	津波	河川の氾濫、浸水	土砂災害 (斜面崩壊、 土石流、地すべり)	高潮	
400	227	46	77	44	6	(回答数) (パーセント)
100.0	56.8	11.5	19.3	11.0	1.5	

(参考：住まいによる内訳)

それぞれの住まいによって、リスクを感じる災害が異なる傾向がみてとれた。そのなかでも「宇和島」は「津波」に対してもっともリスクを感じていることが分かった。

	調査数	Q5 自然災害等のリスクはQ2の区域図等で示しているところですが、生活する上でもっともリスクを感じるのはどの災害ですか。					
		地震	津波	河川の氾濫、浸水	土砂災害(斜面崩壊、土石流、地すべり)	高潮	
合計	400	227	46	77	44	6	
	100.0	56.8	11.5	19.3	11.0	1.5	
F3 住まい	松山	191	126	15	38	10	2
		100.0	66.0	7.9	19.9	5.2	1.0
	西条・新居浜・宇摩	92	59	8	12	13	-
		100.0	64.1	8.7	13.0	14.1	-
	今治	48	23	4	12	6	3
		100.0	47.9	8.3	25.0	12.5	6.3
宇和島	32	6	14	4	7	1	
	100.0	18.8	43.8	12.5	21.9	3.1	
八幡浜・大洲	37	13	5	11	8	-	
	100.0	35.1	13.5	29.7	21.6	-	

※回答が1番多かったものを赤色、2番目に多かったものを青色で着色している。

Q6：最近、災害が激甚化・頻発化していると感じることはありますか？

「よく感じる」、「やや感じる」が全体の 86.3%であった。

調査数	Q6 最近、災害が激甚化・頻発化していると感じることはありますか？				(回答数) (パーセント)
	よく感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない	
400	147	198	48	7	(回答数) (パーセント)
100.0	36.8	49.5	12.0	1.8	

Q7：南海トラフ地震などの大規模災害に備え、被害を最小限にするためにはハード整備とソフト整備のどちらが重要だと考えますか。

「両方」がもっとも多く全体の67%であった。

調査数	Q7 南海トラフ地震などの大規模災害に備え、被害を最小限にするためにはハード整備とソフト整備のどちらが重要だと考えますか。			(回答数) (パーセント)
	ハード対策 (道路・堤防整備等)	ソフト対策 (ハザードマップの作成、 避難訓練の実施等)	両方 (バランス良く実施)	
400	92	40	268	
100.0	23.0	10.0	67.0	

Q8：愛媛県の各種施策の3本柱として「防災減災対策」「人口減少対策」「地域経済活性化対策」がありますが、そのなかで重要だと思うものを選択してください。

県政の3本柱にかかる設問であり、各項目とも40%台であるが、「防災減災対策」がもっとも多く49%であった。

調査数	Q8 愛媛県の各種施策の3本柱として「防災減災対策」「人口減少対策」「地域経済活性化対策」がありますが、そのなかで重要だと思うものを選択してください。			(回答数) (パーセント)
	防災減災対策	人口減少対策	地域経済活性化対策	
400	196	174	173	
100.0	49.0	43.5	43.3	

※当該設問は複数回答が可能のため、パーセントは回答数を調査数で割って算出している。

Q9：現在の愛媛県の防災・減災対策の取組は十分だと思いますか。

「やや不十分」がもっとも多く全体の33.8%であった。また、「わからない」が次に多く30.5%であった。

調査数	Q9 現在の愛媛県の防災・減災対策の取組は十分だと思いますか。					(回答数) (パーセント)
	十分	おおむね十分	やや不十分	不十分	わからない	
400	3	84	135	56	122	
100.0	0.8	21.0	33.8	14.0	30.5	

Q10：公共事業においては、国土強靱化のため3か年緊急対策、5か年加速化対策を実施しているところですが、これらの効果を感じますか。

「いいえ」がもっとも多く全体の75.8%であった。

調査数	Q10 公共事業においては、国土強靱化のため3か年緊急対策、5か年加速化対策を実施しているところですが、これらの効果を感じますか。		(回答数) (パーセント)
	はい	いいえ	
400	97	303	
100.0	24.3	75.8	

Q11：あなたの生活している地域の防災・減災対策は十分ですか。また、安心して生活できていますか。

「対策は十分であり安心してている」がもっとも少なく全体の2%であり、それ以外の項目はいずれも30%前半であった。

調査数	Q11 あなたの生活している地域の防災・減災対策は十分ですか。また、安心して生活できていますか。				(回答数) (パーセント)
	対策は十分であり安心してている	対策は十分であるが安心してはできない	対策は十分でないが安心してている	対策は十分でなく安心してはできない	
400	8	129	125	138	
100.0	2.0	32.3	31.3	34.5	

Q12：Q11について、地域の防災・減災対策について十分とは思わない場合、早急に対策を望みますか。

「望む」がもっとも多く全体の79.8%であった。

調査数	Q12 Q11について、地域の防災・減災対策について十分とは思わない場合、早急に対策を望みますか。		(回答数) (パーセント)
	望む	望まない	
263	210	53	
100.0	79.8	20.2	

Q13：Q12について、地域の防災・減災対策について対策を望むと答えた方は、以下のどの対策を望みますか。

「地震・津波対策」がもっと多く全体の70.5%であった。

調査数	Q13 Q12について、地域の防災・減災対策について対策を望むと答えた方は、以下のどの対策を望みますか。						(回答数) (パーセント)
	地震・津波対策	河川の洪水対策	港湾・海岸の高潮対策	土砂災害(地すべり等)対策	避難情報の周知等のソフト対策	その他	
210	148	94	32	86	59	3	(回答数)
100.0	70.5	44.8	15.2	41.0	28.1	1.4	(パーセント)

※当該設問は複数回答が可能のため、パーセントは回答数を調査数で割って算出している。

その他：「独居老人、障がい者の避難方法」、「具体的には分からない」、「災害時に復旧車両が通れる道路整備」

Q14：Q12について、地域の防災・減災対策について対策を望まないと答えた方は、その理由は何でしょうか。

「税金が勿体ない」及び「自然環境に影響がある」が同率でもっとも多く全体の39.6%であった。

調査数	Q14 Q12について、地域の防災・減災対策について対策を望まないと答えた方は、その理由は何でしょうか。					(回答数) (パーセント)
	税金が勿体ない	工事の振動・騒音が気になる	自然環境に影響がある	トラック等が増えて交通上の支障が出る	その他	
53	21	3	21	9	4	(回答数)
100.0	39.6	5.7	39.6	17.0	7.5	(パーセント)

※当該設問は複数回答が可能のため、パーセントは回答数を調査数で割って算出している。

その他：「自分の命は自分で」、「やりようがない」、「それよりもまず歩道がガタガタなのを直してほしいから。災害時以前に日常で怪我をする恐れがある。」

Q15：災害が起こった場合に、あなた(あなたの生活)を助ける(守る)ため、必要(活躍を期待する)だと思ふ機関等は以下の内どれだと思いますか。

「自衛隊」がもっとも多く全体の67.5%であった。「建設業者」はもっとも低く全体の15.3%となった。

調査数	Q15 災害が起こった場合に、あなた(あなたの生活)を助ける(守る)ため、必要(活躍を期待する)だと思ふ機関等は以下の内どれだと思いますか。								(回答数) (パーセント)
	自衛隊	警察	消防署	医療機関(DMAT等)	自主防災組織	消防団	建設業者	その他	
400	270	139	224	209	105	116	61	9	(回答数)
100.0	67.5	34.8	56.0	52.3	26.3	29.0	15.3	2.3	(パーセント)

※当該設問は複数回答が可能のため、パーセントは回答数を調査数で割って算出している。

その他：「市役所関係」、「社会福祉協議会」、「ボランティア、役場」、「地域」、「自分」、「無し」、「わからない」

Q16：限られた予算の中で、優先して確保すべき費用はなんだと思いますか。

「災害復旧にかかる費用」がもっとも多く全体の49.8%であった。

調査数	Q16 限られた予算の中で、優先して確保すべき費用はなんだと思いますか。										
	教育にかかる費用	社会福祉にかかる費用	商業・工業にかかる費用	公共土木施設にかかる費用	疾病予防・健康増進等にかかる費用	農林水産業の振興等にかかる費用	警察の維持にかかる費用	災害復旧にかかる費用	失業対策や勤労者のための施設にかかる費用	その他	
400	137	191	47	69	119	56	33	199	81	3	(回答数)
100.0	34.3	47.8	11.8	17.3	29.8	14.0	8.3	49.8	20.3	0.8	(パーセント)

※当該設問は複数回答が可能のため、パーセントは回答数を調査数で割って算出している。